

令和4年度 平和資料館親子見学会 参加者の感想



対 象	町内小学校4・5・6年生、中学1年生 及び保護者
参加人数	12組26人
実 施 日	令和4年7月30日(土)
見学場所	『川崎市平和館』及び『昭和館』
主 催	愛 川 町

この見学会の参加者に無記名でアンケートを実施しましたので、自由意見として書かれた感想等を紹介いたします。

なお、掲載している文章は、基本的に原文どおりですが、誤字・脱字など細かい部分は訂正しています。

1. 児童・生徒の感想

No.	感想等自由意見
1	色々な勉強ができて良かったです。 戦争は怖いけど、今日のことを学校の先生にもお友達にも教えてあげようと思いました。 ありがとうございました。
2	わたしは最初、どういうのかと思いました。 実際に見てみると、戦争中に何万人もの人が死んでいると考えると、すごく怖かったです。 平和の大切さはこの世界みんなが知ってほしいです。
3	日本で戦争をしてたくさんの人が死んじゃって悲しいけど、日本も戦争でたくさんの人命を奪っていることを知って驚きました！ 戦争はしてはいけないなと思いました。
4	戦争があると平和でもないし、命をなくす人がいて悲しんでしまいます。けれども、戦争がなければ平和だし、安心して暮らせるので戦争がなければいいです。また、戦争があるとごはんも厳しいしお腹が空くので嫌です。
5	私は私なりに平和の尊さ、戦争の悲惨さをより詳しく理解できた。 普段滅多に資料館などに行かないので良い機会だった。様々な展示物を見て感動した。特に、昭和館がすごく印象的だった。「ギブ・ミー・チョコレート」は、子供たちがすごくチョコレートを欲しがっている様子が映像に映されているのに感動した。青空教室の展示の所は、人形がリアルで、よく見ると机がない子がいたり教科書がなくて隣の子に見せてもらっていた子がいたり、赤ちゃんをおぶって授業を受けている子がいるのに気づいて、こんなに小さな時でも赤ちゃんの子守りや家事、家族のために一生懸命頑張っていたのだろうなと感じた。 また、昔の週刊誌が展示してあって、こんなに古いのに取っておいていた人がいたことに感動した。三種の神器のテレビは、昔すごく高くて家庭の3割の人たちしか持っていないことを知りとても驚いた。しかも、値段はお父さんが2年間働いた分のお給料でやっと買えると知った時はさらに驚いた。今ではほとんどの家庭にあるのに！ さらに、戦争をしていた時に軍隊にいる兄などに送った手紙の展示を見て思ったが、昔の人は、みんな字が上手な人が多かったなと思った。戦争があったことは、絶対に後世に伝えていくべきだと感じる良い機会だった。ありがとうございました！

6	戦争で子供、老人、色々な人達の命が奪われ、とても可哀そうに思ったし、色々な大切なことを学びました。 昔のことを色々知れた気がします。もっと知りたいと思いました。ありがとうございました。
7	わかりやすく説明してくれて、暴力に色々な種類があることを知った。平和は難しく、世界中の国が同時に平和になれてないことがわかった。
8	参加して平和の大切や暮らしがわかり、昔のことが知れた。
9	映像などを見て、平和の尊さについて知ることができました。 また、戦時中の生活や戦後の暮らしなどを学べる良い機会になったと思いました。
10	平和のためのボランティアをしたいです。
11	東京はコロナが多くて心配だけど楽しめたから良かった。楽しかったからまた家族と行きたくなる。昔の怖さがすごくわかった。小学生で体験できること少ないから体験ができて良かった。



2. 保護者の感想

No.	感想等自由意見
1	平和な日常を送るためには、「非平和」を知ること、そしてそれを是正していくために何ができるか考えて行動していくことが大切だと思います。 子供たちに平和について、戦争について学ばせる機会があまりないので、このイベントはとてもありがたいです。このイベントに参加した人だけでなく、愛川町の小中学生みんなが学校で平和学について学べるようにしてもらえたらより良いと感じました。（遠足で平和館に訪れる等） 悲惨な戦争があったという過去は変えられないけれど、歴史からしっかり学んで、同じ過ちを繰り返さないために、どう行動すべきか考えていきたいと思います。また、今でも世界各地で紛争が起きているので、難民や渦中にいる人たちを助けるために、何か行動したいです。
2	2回目の参加です。子どもが4年生の頃から楽しみにしていて、コロナで開催されずに心待ちにしていた。今回参加出来て良かったです。
3	今、世界で起きているウクライナ侵攻など身近で考えられたらと思い、戦争はしてはいけないことを勉強してほしく参加しました。 戦争とまではいなくても、日常でのいじめ問題等通ずるものがあると思います。取り返しのつかないことをしたら自分も不幸になるということを知ってほしいです。 今回訪問した資料館では、もう少し生々しい体験を知ることができれば良かったです。やはり、当事者（戦争経験者）の話などがあるととても勉強になると思います。 資料なども漢字で読むものがたくさんあるので見学対象年齢をもう少し上の設定のほうがいいのかもしれませんが。中学生までとか・・・ なかなか自分だけで行くのは難しいので、良い経験をさせてもらいました。またの機会も参加させていただきたいです。
3	普段なかなか子供と向き合う時間が少ない中で、戦争について学ぶ良い機会となりました。現在もウクライナ侵攻やアフガニスタン戦争など世界中では戦争が続いている地域もあり、日本で生活をしていると平和慣れしすぎて、どこか他人事のように感じてしまうことが多いです。平和館の学芸員さんの話を聞いて平和学という言葉は初めて聞き勉強になりました。暴力によって作り出される戦争以外にも人種差別や貧困問題、環境問題など多岐にわたり非平和があることも知りました。歴史は繰り返される、人間の愚かしさを感じました。「1つの地球に2つの世界があり」この言葉の奥深さをもっと一人ひとりが真剣に考えできることを実行し共存できる社会を構築していきたいと思いました。 ありがとうございました。

4	社会人になってから平和や戦争について考えることが減ってきていると改めて実感しました。 今日、親子で参加することができて良かったです。戦争を実際に経験している人が少なくなっている中で平和館、昭和館のような形で後世に伝えていくことは大事だと思います。帰ってから子供の感想も聞いてみたいと思います。ありがとうございました。
5	戦争の歴史を学ぶくらいに思っていたので、幅広い内容に驚きました。ただ見学するだけでなく平和館では学芸員の方の説明も聞けてわかりやすかったです。平和館も昭和館も特設コーナーがあったので来年も参加させていただけたら、また違うものが見られるのかなと期待があります。 川崎と東京という場所設定に疲れてしまうのかなと心配していましたが、時間設定もちょうどよく、内容も違ったので一日中楽しむことができました。お弁当も美味しかったです。 バスの中での DVD も愛川町の歴史が見られて勉強になりました。 企画していただきありがとうございました。 平和の大切さを多くの方に伝えるということは難しいですが、子供と戦争について学び、考え、平和について改めて話す機会を持てたので、それが一番参加の意義になったと思いました。
6	かつて日本は途上国で貧しい国だった。国は多くを求め、他国を侵略する道を選び、多くの国民もそれを望んだ。武器を持たない人が日本を含む多くの国で亡くなり、また日本によって殺された。日本は敗北し、国が180度変わることによって先進国と呼ばれるまでになった。 人は歴史を学び戦争を知ることで二度と戦争をしてはいけないと思うようになった。国民の大多数はそう感じているはず。 しかし、現代においても貧しい国民がそこにはいる。彼らは戦争で得るもののことを望むかつての日本と同じかもしれない。 戦争によってより多くを破壊され経済的損失が大きい国ほど、戦争反対といい続けるのではないだろうか。 世界の格差をなくすのは難しいが、もう一つの戦争は大変考えさせられる。
7	なかなか来られない所なので良かった。昭和館の時間がもう少しあればもっと見学できた。
8	川崎市平和館では、戦争の悲惨さがとてもよくわかりました。戦争は武器だけでなく、戦争をしたことでまともに食事できず、水を飲めず、自由がなく、戦争は色んな戦争があることがわかった。 現代の私達は、戦争もなく、食べたいときに好きな物を食べられて、飲めて、病院にも行けて、学校にも行ける。とても幸せだと思いました。 今回の見学会では、戦中～戦後の時代の流れも学ぶこともできたし、親子でとても勉強になりました。 ありがとうございました。また参加したいです。

9	今回、参加を希望した理由として、私自身が長崎県長崎市で小4まで育ち、原爆について戦争について子供に学ぶ機会をとずっと思っていました。 私が小学生の頃は、8月9日は登校日になっており、爆弾が投下された時間に黙祷をしていました。その当時は日本に原爆落とされ、日本はたくさんの方がなくなり、やられた側だと思っていましたが、日本も原爆は使用していないけど、たくさんの方を殺してしまい、その周りの家族や友人、たくさんの方を傷つけた加害国でもあるのだとわかるようになりました。戦後77年経ち、当時の話を聞ける機会は減っているので、今回の見学会に参加して娘と一緒に戦争について、平和とは・・・について学ぶことができてとても良かったです。 不自由なく明るい電気の中生活したり、食べる物にも困らず、学校へ行く、仕事ができる今の生活はありがたいのだと思いました。 世界で起こっている戦争や貧困がなくなり、本当の意味で平和になるように、私自身何ができるか考えたいと思います。 ありがとうございました。
10	戦後長らく経ち、実際に戦争を体験している人がいなくなっているので、平和学習が戦争の悲惨さを伝え、「だから、やめようね」ということでは通用しなくなりつつあるのを感じていた。 そのため、今回、平和館のような平和学からのアプローチによる戦争反対や非平和状態という考え方があることを知り大変学びとなりました。 個人的に展示で素晴らしいと感じたものは、「ジャーナリズムと戦争について」です。ジャーナリズムが現状を伝えるための手段として多く、また大きな役割を持っている一方、それにより扇動や差別にもつながること、また、我々は正しい情報を得ることができなくなる可能性についても考えさせられました。SNSによって、手軽に情報発信ができるようになっていたので、自分が扇動的にならぬよう一人一人が気をつける必要があると感じました。 体験談から学問へアプローチの方法は変わりつつありますが、平和は自分たちで作り出すものという考えは常に持っていきたいと思います。 戦争は悲惨です。しかし、いつも政治的要因がからみます。正義の反対は別の正義というよう、多方向から平和について考える良い機会となりました。 ありがとうございました。



愛 川 町